

伝えたい 残したい

# 20世紀 のうしく

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2300

## てんとうしゅくがかい 点燈祝賀会

撮影：昭和22(1947)年1月4日



昭和22年1月4日午前10時に女化地区は一斉に通電し、女化分教場で点燈祝賀会が行なわれました。写真中の人物が手に持っている提灯には「点」「燈」「祝」「賀」の文字が書かれています。

初めは電気容量が3キロワット5アンペアで、電柱の間隔が広いところに風が吹くとすぐ停電になりました。しかし戦後の資材不足の中、支払いに芋や野菜を充てて電線を調達し、現地の木を伐つて900本の電柱を建てて電化工事を完了させた住民にとつて、電燈に明かりが灯った時の喜びはとても大きなものでした。



明治・大正・昭和の

「昔のうしく」の写真を募集しています。

## 里山の樹木

問 都市計画課

☎内線2524

第25回

### ヤツデ

ヤツデの樹形：新地町の斜面林  
平成12年11月23日撮影



花序：上部(雄花)、下部(雌花)  
平成23年11月29日撮影

ウコギ科の高さ1.5〜3mの常緑低木。葉・花が目立つ樹木です。茨城県以南〜四国・九州に分布。市内では斜面林等に自生、庭木としても植栽されています。茎は根もとから数本集まっています。葉は根もとから数本集まっています。葉



は長さ20〜40cmの葉柄があり、葉身は光沢があり、長さ10〜30cm、円形で深く5〜9に分裂しています。晩秋、枝先に大型円錐花序が伸び、1〜2回分枝し、花柄の先に多数の花が散形に咲きます。花弁は白色で5枚、長さ3〜5mm。同じ花が初め雄性で、後に雌性に変わります。果実は径約5mmの球形で、翌年夏に黒く熟します。名前の由来は漢字の八手、分裂葉を八で表現したものです。※牛久の里山樹木ハンドブック71ページ掲載。本の問い合わせは牛久自然観察の森 ☎874-6600まで。【資料提供】NPO法人うしく里山会(文章：本田寛、写真：渡辺泰)

## 文芸さろん | 睦月 |

酔芙蓉心がわりのくれなるや  
街路樹の紅葉菊の香に夕映えさす  
冬めくや曇りガラスに指のあと  
木の葉散る歴史の真壁訪れて  
ひとり酒胡弓にとろり酔芙蓉  
高尾山赤色に染まる紅葉かな  
極月や削り過ぎたる筆の芯  
実生ゆず香り効用全て良し

風邪に負けないビタミン・パワー

草葉

倭文子  
岡村さん  
静枝  
和多田さん  
我氏  
月田さん  
善一郎

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など

【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1

「広報うしく文芸さろん」係 FAX：873-2512

E-mail：kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp

【記載事項】作品、氏名、電話番号、匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)

「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)